

第1回リノベーションスクール開催レポート

まちなかに、新しい風とワクワクを！



8月28日(金)から30日(日)までの3日間、リノベーションスクールを開催しました。リノベーションスクールは、実在する空き家や空き店舗、空き地などの遊休不動産を題材に、不動産とその周辺エリアを再生し、エリアの価値の向上を目指す事業計画を作成し、提案する取り組みです。市内外から参加した受講生が、裾野駅東口エリアを舞台に「裾野らしさ」を追求しました。



☎商業観光政策課 995-1857

まち歩きやヒアリングで、裾野らしさを発見

1日目は、12人の受講生が2つのグループに分かれ、題材となる空き店舗などの見学、まち歩き、対象物件のオーナーへのヒアリングを通して、地域住民の温かさや、路地や水路など地域特有の環境といった「裾野らしさ」を発見。地域住民と地域外からの来訪者との交流拠点や、地域特有の環境を生かした施設について、意見を出し合いました。

2日目は、提案を実現させるための具体的な費用についても考慮して、事業計画を立てました。

最終日は事業計画を完成させ、一般参加した人や関係者に向けて発表しました。



まち歩き



グループワーク



提案②：裾野に「沼る」1週間をプロデュース 【すそのぐらしのはじまり、環玖(わく)】

裾野駅周辺に点在する未活用の遊休不動産を活用した、1週間単位で借りられる短期賃貸住宅(すそのぐらし)を展開する。

水路や小道、富士山・箱根の眺望といった、裾野ならではの「何気ない日常の豊かさ」を体験してもらう拠点とし、都会で疲れた人の癒やしの場となるとともに、本格的な移住のハードルを下げる新しい「関係人口」の創出モデルに挑戦する。

裾野の未来を変える！受講生からの2つの提案

最終日に行った公開プレゼンテーションでは、2つのグループが対象物件のオーナーなどに向け、提案プランを発表しました。

提案①：駅前を「人と人がつながる温かい玄関口」へ 【おかってプロジェクト】

隣接するパン屋さんと連携し、コーヒーやスープ、市内農家の無農薬野菜を使ったおつまみなどが楽しめるテイクアウト&イートイン店舗を展開する。

営業時間外を「ゆったりタイム」とし、高齢者や子ども、主婦などが畑の手伝いやおしゃべりを通じてスタッフ・客として参加できる「みんなで作るお店」に。駅前を通る人に「いってらっしゃい」「おかえりなさい」の温かい声が飛び交う、ありがたいの循環拠点を目指す。



提案の実現に向けて

受講生は提案されたプランをベースに、市の伴走とともに引き続き課題検証や手法検討を行い、オーナーとの対話を重ね、事業化に向けて取り組みます。